

家読100選

うちどく

山梨県教育委員会 しなやかな心の育成プロジェクト



小学校3・4年生向け

家族
みんな



実

践

で

読

書

「うちどく」のやり方に特に決まりはありません。基本は、「読んだ本について家族で話す」ということだけです。それぞれの家庭の事情にあわせて、習慣的に本をめぐる会話を楽しむ。同じ本を読めば会話がいっそう盛り上がります。決まりはありませんが、「うちどく」のすすめ方として参考にしてください。



- ☆家族みんなで好きな本を読む。
- ☆読んだ本について家族で話をする。
- ☆家族で同じ本を読む。
- ☆お互いに本をすすめあう。
- ☆家族そろって本屋さんや図書館などで本を選ぶ。

TOHAN「うちどく実践ガイド」より

我が家の家読

♡興味を持たせ方♡

- 母と市立図書館に行ったり、家族で本屋に行ったりしていました。
- いつも身近に本があるように、リビングのすぐ手に届くところに本をたくさん並べておきます。
- 親子で図書館に行き、テーマを決めて本を選んでいきます。同じテーマでもそれぞれ選んでくる本が違うので面白いです。

♡読み方の工夫♡

- 公園に行くときには、自然や冒険ものの本を持って行きます。生き物を飼うときには、生き物の飼い方の本を読んでみたりしています。
- たまにふざけながら文を変えて楽しく読んでいます。
- 借りてきた本を、長女がきょうだいに読み聞かせをしてくれます。
- 膝の上に乗せ、動きを加えながら遊び感覚でしました。
- 学校で借りてきた本を子どもと順番で読みっこしています。

♡読む本の種類♡

- 先入観をもたせず、何でも読むようにしています。
- 寝る前に読み聞かせをしています。子どもが読みたい本と読ませたい本を取り混ぜています。
- 定期的に本や図鑑を与え、感想を聞きます。

♡その他♡

- 週末は、幼稚園で借りた絵本を親子で読んで、子どもは感じたことを絵にします。子ども自身がお話に登場したり、お話の続きを予測したりと、毎回自由勝手に描きます。この作業につきあうと、子どもの気持ちに浴いながら、もう一度絵本を味わうことが出来て楽しいです。
- 絵本に出てくるお菓子を子どもといっしょに作って食べます。息子は大喜びです！

公募で多かった作品を紹介します

県民おすすめの本ベスト5（中学年編）

- | | |
|---|---|
| 1 | マジックツリーハウス（マリ・ポー・ブ・ホルン/著
甘子彩葉/イラスト 食野雅子/訳 マジックツリー） |
| 2 | ちいちゃんのかげおくり
（あまんきみこ/作 上野紀子/絵 あかね書房） |
| 3 | さんねん峠（李錦玉/作 朴民宜/画 岩崎書店） |
| 4 | のはらうた1（工藤直子/著 童話屋） |
| 5 | 100万回生きたねこ（佐野洋子/作・絵 講談社） |

◆平成25年10月

◆編集 「家読100選」選定委員会

◆発行 山梨県教育委員会 社会教育課

〒400-8504 甲府市丸の内1丁目6番1号

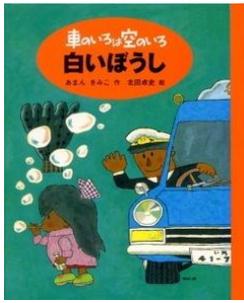
TEL 055-223-1773 FAX 055-223-1775

<http://www.pref.yamanashi.jp/shakaikyo/index.html>





←読んだら、好きな色でぬってね！



- ①車のいろは空のいろ 白いぼうし
- ②あまんきみこ/作 北田卓史/絵
- ③ポプラ社 2000年
- ④子どものときに読んだことのあるお家の方も多いのでは。今度はお子さまと一緒に楽しみませんか。

リストの見方です

- ←①作品名です。
- ←②作者名です。
- ←③出版社名、発行年です。
- ←④家読をするときのヒントです。ご家族で、本を読むときの参考にしてください！



ちょっとだけ弟だった幸太のこと



東多江子/作 宮尾和孝/絵
そうえん社 2010年

捨て犬の預かりボランティアを始めた家族の物語。生き物を飼う責任について考えるきっかけになるかも。



ねこさんかぞくの みどりのカーテン

津田直美/作
ブロンズ新社 2009年

作者一家が実際に育てた緑のカーテン。その様子を描いた絵本なので、我が家も挑戦！という家庭にぴったり。

おじいちゃんが おばけになったわけ



キム・フォップス・オカツ/文
ゴア・ワカ/絵 菱木晃子/訳
あすなろ書房 2005年

大好きな人との悲しい別れ…。でも、あなたはこんなに愛されていたんだよと、伝えてあげたいときに。



ポリート はらぺこオオカミ



キャサリン・スト/作
掛川恭子/訳
岩波書店 1979年

昔話をもとにした楽しいお話集。お子さまの知らない昔話があったら、そのお話も教えてあげてくださいね。



「和」の行事えほん (全2巻)



高野紀子/作
あすなろ書房
2006～2007年

四季折々にお子さまと一緒にながめ、楽しみながら日本の行事を伝えていきたいですね。



おひさまいろのきもの

広野多珂子/作・絵
福音館書店 2007年

お母さんの立場で読んで、子どもの立場で読んで、きっと心が温かくなってくるとおもいます。

ウェン王子とトラ



チェン・ジャンホン/作・絵
平岡敦/訳
徳間書店 2007年

二人の母（お后とトラ）と王子の絆から、「愛」は憎しみや暴力に勝ることに気付いてくれたら…。



エパミナンダス



東京子ども図書館/編
東京子ども図書館 1997年

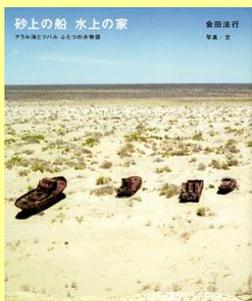
‘耳で聞く’楽しさが味わえるお話を集めた本です。ぜひ、読み聞かせをしてあげて欲しいと思います。



砂上の船 水上の家

会田法行/写真・文
ポプラ社 2010年

時には環境問題についてお子さまと話をしてみませんか。写真が静かに、でも、力強く語りかけてきます。



1つぶのおこめ

デミ/作
さくまゆみこ/訳

光村教育図書 2009年
毎日、倍々に増えていくお米の数。だんだん大きくなっていく数字と一緒に数えながら読んであげてください。





帆かけ舟、空を行く

クエンティン・ブレイク／作
柳瀬尚紀／訳
評論社 2007年

最後に、帆かけ舟はどこに向かったのでしょうか…。それぞれが自分の思いを話し合ってみませんか。



いのちのおはなし

日野原重明／文
村上康成／絵
講談社 2007年

「命を大切に生きて欲しい。」そんな親の願いを、この絵本でお子さまに伝えてみませんか。



赤ちゃんのはなし

マリ・ホル・エツ／ぶん・え
坪井郁美／やく

福音館書店 1982年
きょうだいが生まれてくるときなどに、ぜひ。家族と一緒に、命の不思議と大切さを感じてくださいね。



桜守のはなし

佐野藤右衛門／作
講談社 2012年

春はもちろんですが、きっとこれからは夏や秋のお散歩のときも、桜に目がいくようになるのでは。



旅の絵本 (1~8)

安野光雅／著
福音館書店
1977~2013年

風景の中に散りばめられた史跡やお話の数々。おとなが案内してあげると、きっと旅が一段と楽しくなります。



じごくのそうべえ

田島征彦／作
童心社 1978年

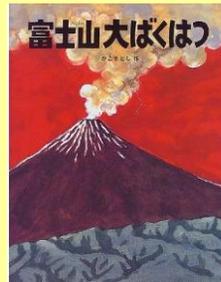
おとなも童心に返って絵本を楽しんでみませんか。きっと、みんなで大笑いできると思いますよ。



富士山大ぼくはつ

かこさとし／作
小峰書店 1999年

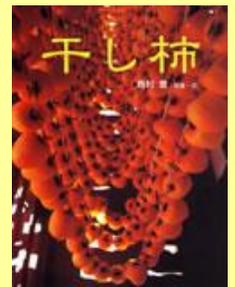
せっかく山梨に住んでいるのですもの。世界文化遺産の富士山のこと、もっとみんなで調べてみませんか。



干し柿

西村豊／写真・文
あかね書房 2006年

山梨の特産品の干し柿。秋には家族みんなで干し柿づくりを楽しんでみてはいかがでしょうか。



作 品

作 / 絵 / 訳

発行年

出版社

作 品	作 / 絵 / 訳	発行年	出版社
セミの一生	橋本治二／文 佐藤有恒／写真	2005	あかね書房
やかまし村の子どもたち	アストリッド・リッドグレイ／作 大塚勇三／訳	1965	岩波書店
オオカミの森 旭山動物園物語	小菅正夫／文 あべ弘士／絵	2009	角川書店
博物館の一日	いわた慎二郎／作・絵	2012	講談社
子どもに語るアラビアンナイト	西尾哲夫／訳・再話 茨木啓子／再話	2011	こぐま社
みんなあかちゃんだった	鈴木まもる／作	2000	小峰書店
吉四六さん	小澤昔ばなし大学再話研究会／再話 小澤俊夫／監修 二俣英五郎／絵	2011	小峰書店
プレゼント	おとたけひろただ／ぶん さわたとしき／え	2000	中央法規出版
3びきのかわいいオオカミ	ユー・ソ・トビダス／文 ルソ・カセバリ／絵 こだまともこ／訳	1994	富山房
わすれられないおくりもの	スザン・バーレイ／さく・え 小川仁央／やく	1986	評論社
ドングリ山のやまんばあさん	富安陽子／作 大島妙子／絵	2002	理論社

このリストには、「子どもと一緒に読みたい本、友だちや家族に読んで欲しい本」について、山梨県内の方々からご応募頂いた作品ものせています。